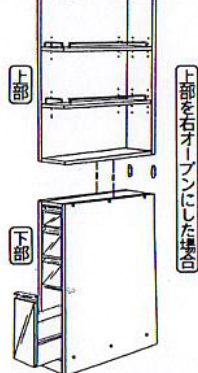


すき間オープン収納庫 幅12 奥行44.5 組立説明書

この度は本品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

完成図



【日本製】

たんす類の品質表示

寸法

外形 約幅120mm × 奥行445mm × 高さ1700mm
(積み重ねた場合)

引出しの奥行き 内寸335mm ・ 外寸350mm

表面材 引出前板前面 ポリエステル化粧合板

表面加工 その他 プリント紙化粧合板

取り扱い上の注意

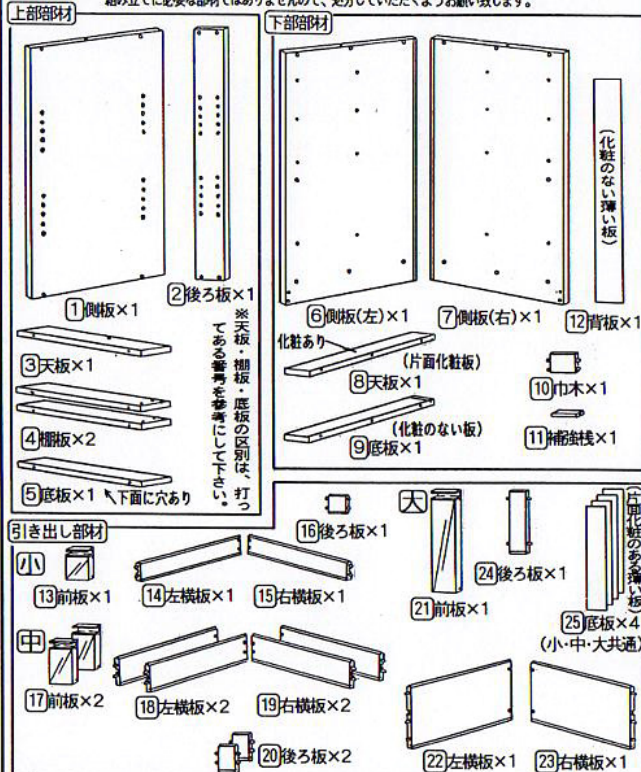
- イ. 据え付けの際には、湿気の多いところを避け、家具を水平に保つために必要な措置を講じてください。
- ロ. 直射日光または、ストーブの熱を避けてください。

耐荷重量についての表示 天板約20kg、可動棚約5kg、引き出し約5kgを超えない範囲でご使用下さい。

部材・部品明細

〈部品明細〉※下図に描かれた部材・部品が揃っているか、確認して下さい。

※梱包を開けると箱の両端に薄い板(約9cm×約46.5cm)が1枚づつ入っています。これは商品を保護するためのものであり、組み立てに必要な部材ではありませんので、処分していただくようお願い致します。



付属部品					
A	ビス×30	B	ボンド×1	C	レール×8
D	レール用ビス×8	E	コの字金具(長い)×2	F	コの字金具(短い)×2
G	ビスシール×22	H	ジョイントピン×2	J	連結金具×2
K	連結金具用ビス×8	L	L型金具×2	M	L型金具用ビス×8

※D・K・Mは共通部品です。

△組み立て前に必ずお読み下さい!

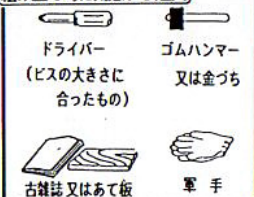
- 塗料・接着剤等の臭いがかもっている場合があります。梱包を開けて作業する場合は通気性を良くして行ってください。
- 組み立ては十分に広い場所で行い、まわりの家具や床等に傷がつかないように注意してください。
- 組み立ての際は指を挟んだり、足にものを落とさないように充分注意してください。
- 組み立てる前にまず部材・部品を確認してください。
- 万一、傷・不足があればご面倒ですが下記のお問い合わせ窓口までご連絡ください。
- ボンドをつける前に仮組み(確認)をすると、間違いが防げます。
- 部材をボンドで接着した後は外す事ができませんのでご注意ください。
- ビスのプラス穴に合ったドライバーを使用し、最初は仮締め程度にして組み上がってから締めてください。
- ビスを必要以上に締め過ぎると、空回りして効かない場合があります。電動ドライバーをご使用の場合はご注意ください。
- ボンドが完全に乾いてから(12時間程度が目安です)ご使用ください。尚、はみ出たボンドは拭き取ってください。

〔注意〕※商品を保護するために薄い板が2枚入っていますが、組み立てに必要な部材ではありません。

※裏面の取扱説明書も必ずお読み下さい。また、この説明書はいつでも見られるように大切に保管して下さい。

上記の注意事項に充分注意して、正しく組み立てて下さいますようお願い致します。

組み立て時に用意する道具



組み立ての手順

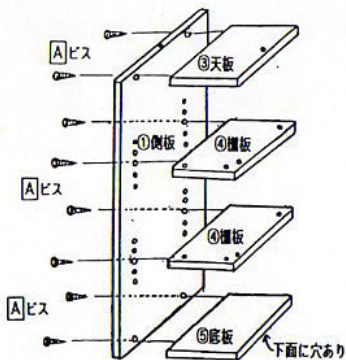
番号の順番に従って、組み立ててください。

1 上部の組み立て 側板に天板・棚板・底板を取り付ける。

※ハンマーで叩く場合は、あて板・あて布・古雑誌等をあててください。

図-1は③天板・⑤底板を[A]ビスで取り付け、
④棚板2枚を5段の穴の中央に取り付ける組み
立て図ですが、収納物などに合わせてお好みの
位置に取り付けて下さい。

この時、③・④・⑤の取り付け位置を間違え
ないように注意して下さい。

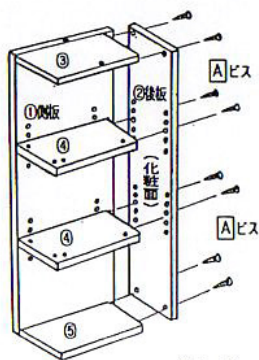


(注意)※③・④・⑤の部材の区別は、打ってある番号を参考にして、
間違えないようにして下さい。

(図-1)

2 後ろ板を取り付ける。

②後ろ板を③・④・⑤に、[A]ビスで取り付けます。
(図-2参照)



(図-2)

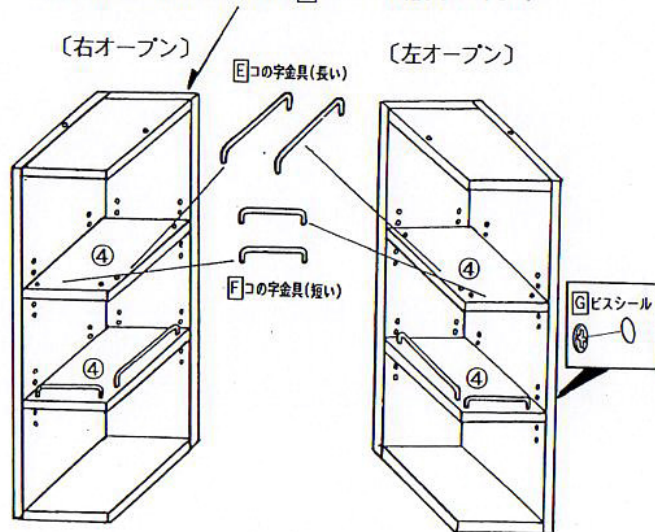
3 コの字金具を取り付ける。

棚板の向きを右オープンか左オープンかに決めて、[E]コの字金具(長い)と[F]コの字金具(短い)各2本を
④棚板に取り付け、見えているビスの頭(Bカ所)に[G]ビスシールを貼れば上部の完成です。

(図-3・図-4参照)

※上・下の区別はありませんので、ご都合に合わせてひっくり返して下さい。

(ご注意)※後ろ面(化粧してない面)には[G]ビスシールは貼らないで下さい。



(図-3)

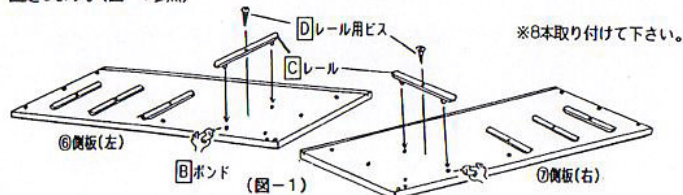
(図-4)

▼組み立ての手順が裏面に続きます。

下部の組み立て

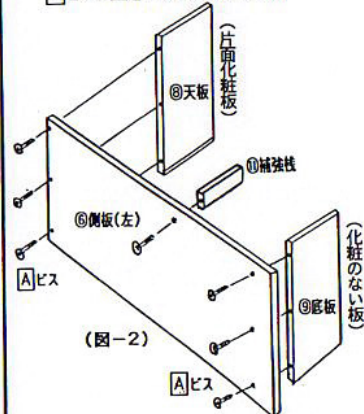
1 レールを取り付ける。

左右側板⑤・⑦のレール用の穴(8個づつ)にBボンドを入れてCレールを差し込み、Dレール用ビスで固定します。(図-1参照)



2 下部を組み立てる。

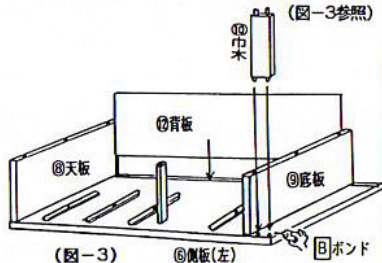
(1)⑥側板(左)に⑧天板・⑨底板・⑩補強柱を、Aビスで固定します。(図-2参照)



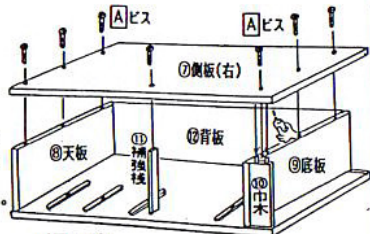
(3)⑦側板(右)のダボ穴(2個)にBボンドを入れて⑩に差し込み、⑧・⑨・⑩にAビスで固定します。(図-4参照)

この時、②が各溝に入っているか確認して下さい。

(2)⑥のダボ穴(2個)にBボンドを入れて⑩巾木を差し込み、溝に沿って⑨背板を差し込みます。(図-3参照)



(図-3)

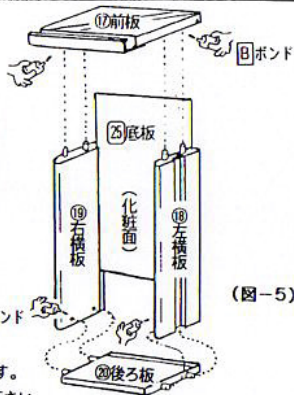


(図-4)

3 引き出しを組み立てる。

※引き出しの組み立て方は小・中・大ともに同じ要領です。但し、部材を間違えない様に注意して下さい。図-5は中の組み立て方の説明です。

- (1)⑩左横板・⑪右横板のダボ穴にBボンドを入れ、⑫後ろ板を差し込みます。
- (2)⑩・⑪の溝に沿って⑬底板を化粧面が上を向くようにして差し込みます。
- (3)⑭前板のダボ穴にBボンドを入れ、⑩・⑪のダボに合わせて傷がつかないようにあて物をあてて打ち込みます。(ここまで図-5参照)
- (4)同じ要領で引き出し小1個、中2個、大1個を組み立てます。※はみ出たボンドは拭き取して下さい。



(図-5)

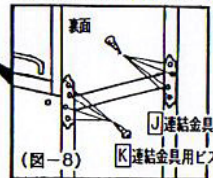
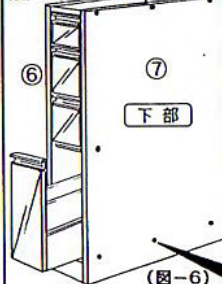
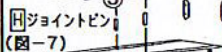
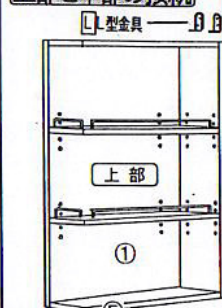
上部と下部の接続

※接続は上部をお好み(右オープン・左オープン)に応じて接続して下さい。

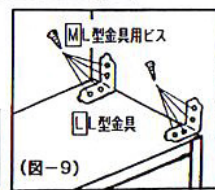
- (1)組み上がった引き出しの溝を、下部のレールに合わせて差し込みます。
- (2)見えているビスの頭に、Gビスシールを貼って下さい。(ここまで図-6参照)

上部と下部を接続します。

- (3)下部の左右側板⑥・⑦にHジョイントピンを差し込み、上部側板①と底板⑨の穴をピンに合わせて差し込みます。(図-7参照)
- (4)上部・下部の背面両端に上・下をつなぐようにして、J連結金具をK連結金具用ビスで固定します。(図-8参照)
- (5)地震等による転倒を避けるため、L型金具を上部の上の後部両端に取り付け、壁へは必ず芯材のある所に取り付けて下さい。(図-9・図-10参照)

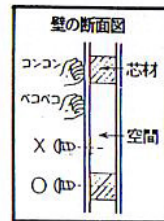


(図-8)



(図-9)

【使用前の注意】
※組み上がった後、そのままボンドが固まるまで12時間程度待ってから、ご使用下さい。



(図-10)